

## 参 考

中央労働災害防止協会では、「基盤形成度診断」として、事業場の労働安全衛生状況の初期状況調査を実施しています。

その初期状況を把握する内容項目は、9分野（企業方針、事業所方針、安全衛生管理計画、安全衛生管理規程、安全衛生管理組織、安全衛生委員会、安全衛生教育、日常職場安全衛生活動、機械・設備の管理、化学物質の管理、作業の管理）の約110項目です。

把握のために使用した資料等を以下に示しました。

- (1) 事業所概要（会社、事業所等パンフレット等）
- (2) 事業所の組織図
- (3) 災害発生状況推移（発生件数、度数率、強度率等）
- (4) 過去に発生した災害の具体的な内容とその再発防止対策（2～3年分）
- (5) 企業の安全衛生管理方針
- (6) 事業所の中・長期運営方針
- (7) 製造部門の中・長期運営方針
- (8) 事業所の安全衛生管理年間計画
- (9) 代表職場の安全衛生管理年間計画
- (10) 事業所の安全衛生管理基本規程
- (11) 規程類の体系図
- (12) 文書管理規程
- (13) 安全衛生管理組織図
- (14) 安全衛生委員会運営規程
- (15) 安全衛生委員会議事録（1年分）
- (16) 構内協力会社管理規程
- (17) 安全衛生教育体系図
- (18) 設備管理規程
- (19) 化学物質管理規程
- (20) 作業環境管理規程
- (21) 作業管理規程
- (22) 日常職場安全衛生活動要領（ヒヤリハット報告活動、KY活動等から1例）
- (23) 形成度診断自己チェック用チェックリスト（チェック済みのもの）

OSHMSを実施、運用し、安全衛生レベルを向上させるには、OSHMS上で展開する安全衛生活動の内容が重要となります。どんなに良いOSHMSを構築しても、行われている安全衛生活動の内容が悪ければ、期待した効果は出ません。そのため、OSHMSを構築するには、前もってこの基盤形成度診断を実施して、現在の安全衛生の仕組みや活動状況等を調査し、評価して、問題点があれば改善を進めることが大切です。